

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年8月8日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

命を守る町立病院なくさないで

白老町立病院を守る会結成 2067筆の署名提出（一次分）

2人の女性の行動から始まった「町内唯一の病院である白老町立病院の存続を求める」運動が、全町に広がっています。白老町では、今年6月に町長の私的諮問機関が「町立病院の廃止」を提案。早ければ9月の町議会に提案されるかもしれない状況です。

7月24日に町民16人が集まり、「白老町立病院を守る会」が結成されました。29日、集まった2067筆の署名を携えて戸田康彦町長と会いました。「病院が無くなったらほんとうに困る」「車の運転ができず、とても苦小牧まで通えないので引越するしかない」など町民の声を紹介し、「多くの人が自分の命を守る医療機関の存続、安心して暮らせる町を切望している」と要望書を提出しました。

翌日30日は、猪原達也病院長とも懇談しました。町民から寄せられた「存続を求める」声とともに、病院の改善を求める声も伝え、一緒にもっと良い病院にしたいと伝えました。

「守る会」では、9月議会前までに有権者の1/4に当たる4000人以上の署名を集めようと、がんばっています。

2時間余で450筆

8月4日、生協前で署名行動。買い物に訪れた町民が次々と署名に協力。2時間あまりの行動で450筆の署名が寄せられました。



国保制度の改善を！

各地でとりくみ広がる

北見 『国保をよくする会』を設立



5年連続して国保料が引き上がり、人口10万人以上の市では、一人当たりの保険料が最も高い北見市で、7月23日「北見市の国保をよくする会」が設立しました。

総会で、規約や役員体制を決め、「なぜ北見市の国保が高いのか」「本当に保険料の引き下げはできるのか」など学習に取り組み、8月18日に『国保相談会』も行います。

9月の定例市議会に「国保料一世帯当たり1万円の引き下げ」をもとめる請願を行うことを決め、署名活動を展開することになりました。

総会に先立って、「北見市の国保を学ぶ」として市役所の国保担当者から、国民健康保険の制度や実態について説明を受け、質疑も行われました。

「北見市の国保をよくする会」のブログもご覧ください。
(<http://kitamikokuhoyokusuru.blogspot.jp/>)

江別 国保税引き下げ署名 1万人めざす



7月28日、「江別市国保税の引き下げを求める会」は、市民大決起集会を開き、60人が参加しました。

会では、9月議会に向けて1万筆の

署名をめざしています。

帯広 保険料の集団減免申請会



6月21日、十勝社保協は、国保料・介護保険料の減免申請会を開催しました。

14名の市民が参加し、そのうち12名の方が申請されました。「病気で仕事ができなくなり、生活が大変」「年金が目減りし保険料が払えない」等々切実な事情で申請されています。

道社保協 改善めざし、今月 市町村調査はじめます